

## グローバルイシューを考える

### 持続可能な開発目標（SDGs）に潜む問題

名前：林詩容（リンシーロン）

所属大学：愛知大学地域政策学部

国、地域：台湾

#### 1. はじめに

現在、経済成長を優先するビジネスモデルにおいて環境及び社会への負担の膨大化となり、地球環境問題や社会問題はより深刻で影響が拡大している。このままいくと持続不可能になり、地球全体が深刻な状況に追い込まれるおそれがある。こうした状況、持続可能な開発目標（以下、SDGs）が注目されるようになった。

近年 SDGs という言葉をテレビや SNS により、耳にする機会が増え、徐々に世の中に浸透しつつある。外務省によると、持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。SDGsには、17項目の目標と、それらの目標を達成するための具体的169個ターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っているという（参考文献1：外務省）。

17項目の目標は、貧困や飢餓などから、経済成長、気候変動に至るまで社会・経済・環境の三側面に対応し、全ての国にとっての目標であり、全人類が共通して取り組むべき課題となっている。企業、市民社会、教育機関、そして各個人など、全ての主体や場で、SDGsの目標を共有し、取り組みを広がっている。この中に、企業は環境、社会、経済への影響力が大きいと考えられ、企業がビジネスを通じて、社会の諸課題に取り組み、課題解決に貢献することが期待されている。

SDGsの目標はどれも立派なものであり、目標に達成すれば、地球に存在する課題を全て解決できると感じられた。しかし、SDGsには多くの課題が潜んでいる。本稿では、SDGsにおける問題点を述べ、解決策を模索しながらSDGsの意義を検討していく。

#### 2. SDGs 問題点

まず、SDGsに掲げられた目標は、地球規模で解決に取り組まなければならないことであり、目標が壮大すぎて途上国がSDGsの目標に達成できないという状況がある。東洋経済

によると、「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」「8.働きがいも経済成長も」「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」「11.住み続けられるまちづくりを」という5つの目標は、インフラ整備や経済振興の話なので、投資をするお金があればできないこともない。ただ、国によって経済力には大きな差があるので、これを世界のすべてでやるというのも現実にはなかなか難しいという（参考文献2：東洋経済 [2022]）。上記で挙げたように、開発途上国は貧困、技術や情報格差などの課題を抱え、経済的余裕がなく、SDGsに取り組むことによる課題解決することが難しい。彼らの陥っている状況は至急に改善しなければならないのに、途上国が何もできない状況が生まれてしまう。そのため、先進国が途上国の状況を把握し、課題解決に向かうことが望まれている。つまり、先進国はSDGsへ取り組む主導権を握っている。このように、先進国が主導となり、SDGs掲げた目標に取り組まなければ、途上国の課題を解決するのが困難である。途上国にとってSDGs目標に達成する見込みが非常に薄いだろう。

また、企業側からSDGsに取り組む時、「SDGsウォッシュ」という状況に陥る恐れがある。SDGs Connectによると、「SDGsウォッシュ」とは「SDGs」と英語「whitewash（ごまかす、うわべを取り繕う）」を組み合わせた造語で、SDGsへの取り組みを行っているように見えて、その実態が伴っていないビジネスを揶揄する言葉である。「SDGs」という響きの良い言葉を使って売名行為をし、SDGsを表面上で行っていると公言する中で実際のビジネスではSDGsを実践していない状況のことを、「SDGsウォッシュ」という（参考文献3：SDGs Connect [2021]）。

企業にSDGsへの取り組みという義務がないが、企業の多くは、自社のCSR（社会的責任）活動を報告し、企業のイメージを高めるためにSDGsの取り組みが始めた。世界中で1400を超える企業を調査した英リサーチ&カンファレンス大手Ethical Corporationのレポートによると、企業の回答者のうち3分の2以上が、自社がSDGsを事業戦略に入れていると発表している。しかし、明確な目標を設定し、SDGsが部署のなかでしっかりとビジネスに落とし込まれているのはわずか12%であったという（参考文献4：Circular Economy Hub [2022]）。

近年、環境・社会・ガバナンス要素（ESG）を考慮した投資が投資家に重視されるようになった。つまり、企業が環境や社会に配慮し、社会的責任を果たすことは資金調達観点から有利となる。これは一つの要因として、SDGsの推進に取り組む企業は年々増加している。

一方で、「SDGsウォッシュ」が発生する場合は、企業の評判が低下させる可能性があり、

企業自身の信用が損なわれる。また、消費者側からの不買運動や政府側からの販売停止命令などを通じて、企業活動に大きな影響を与える。さらに、投資家側からの信頼度も下がってしまうため、株価の下落が考えられる。

例えば、産経新聞によると、ウイグル自治区産の強制労働による新疆綿をめぐる2021年5月、米税関当局が輸入禁止措置に違反したとして、ユニクロのシャツ輸入を差し止めたことが明らかになったという（参考文献5：産経新聞 [2021]）。

この事件により、公式サイトで服の生産過程における労働環境に対する配慮、人権を守ることやSDGsへの取り組みなどを掲げているユニクロは「SDGsウォッシュ」として批判されていた。今後もSDGsや人権への責任を問われ続けるだろう。

### 3. SDGs 問題点に対する解決策

一つ目の解決策は社会全体でSDGsに取り組むことである。SDGsの目標は、地球全体の課題となり、単独の団体や企業のみで実現できないものである。国や社会が一丸となり、解決策を策定しなければならない。さらに、国内限りの取り組みに留めるだけでなく、世界全体に広げなければならない。「17.パートナーシップで目標を達成しよう」のターゲットとして先進国が途上国への支援が含まれている。各国が協力し合い、主体となって行動することが重要である。

二つ目の解決策は世の中の人々のSDGsに対する理解度を高めることである。SDGsに対する認知度だけでなく、理解度を高めることが必要である。SDGsをより深く理解することにより、SDGsに対する関心度が高まるようになり、それは、人の行動に繋がっている。一人から行動すれば、その周りの多くの人々に影響を与えることができ、多くの人を巻き込むようになるだろう。（参考文献6：SDGs Connect）

また、企業側から見ると、社員が自社のSDGs目標をしっかりと理解した上で、「SDGsウォッシュ」の種を未然に防ぐことができる。さらに、社員がSDGsに対して意識をし、自らから行動を始め、問題解決力を養うことが望まれる。

### 4. 終わりに

現行のビジネスモデルによる人類活動は持続不可能となり、安心安全に地球で暮らし続けるのが難しくなる。SDGsに潜む問題が多数あるものの、SDGsは国際社会共通に努力する重要な道標として、世界的に取り組んでいくべきである。

SDGs が掲げた目標は地球規模の課題である。先進国と開発途上国の相互が協力し、相乗効果が期待される課題解決の姿勢が望まれている。従って、SDGs の意義は「国々または個人個人が様々な垣根を超えて協力し合う」だと考えられる。それを遂行するために、SDGs に対する理解度を高めることが重要である。SDGs の問題点を理解した上、SDGs における問題点に陥ることが避けることができ、個人からコミュニティに至るまで相互の協力し合うことが可能となるだろう。「誰一人取り残さない」という社会を作成するために、社会が一丸になり、共同に取り組むことが期待されている。

参考文献：

1. 外務省；SDGs とは？  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>
2. 東洋経済 [2022]：「SDGs の大嘘」にほとんどの一般人が騙されるワケ  
<https://toyokeizai.net/articles/-/594398?page=3>
3. SDGs Connect [2021]：《徹底解説》「SDGs ウォッシュ」とは？3つの事例や気をつけるべきポイントを紹介 <https://sdgs-connect.com/archives/5524>
4. Circular Economy Hub [2020]：「SDGs ウォッシュ」とは？  
<https://cehub.jp/glossary/sdgs-washing/>
5. 産経新聞[2021]：ユニクロを人道犯罪で捜査 仏検察当局 ウイグル産「新疆綿使用」の告発で  
<https://www.sankei.com/article/20210702-CKWAHUSH5JLT7OBAWYDNXKLSKM/>
6. SDGs Connect [2021]：《完全網羅》SDGs の7つの問題点 | 現状の課題と解決策  
<https://sdgs-connect.com/archives/7629>